

2022年度第3四半期 決算の概要

2023年2月2日

みずほフィナンシャルグループ

MIZUHO

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

組織の略称

FG : みずほフィナンシャルグループ	RBC : リテール・事業法人カンパニー
BK : みずほ銀行	CIC : 大企業・金融・公共法人カンパニー
TB : みずほ信託銀行	GCC : グローバルコーポレートカンパニー
SC : みずほ証券	GMC : グローバルマーケティングカンパニー
	AMC : アセットマネジメントカンパニー

為替レート

■ 管理会計（計画レート）

	計画レート
USD/JPY	127.00
EUR/JPY	140.97

■ 財務会計（期末TTM）

	21/12末	22/3末	22/12末
USD/JPY	115.02	122.41	132.70
EUR/JPY	130.52	136.77	141.44

計数の定義

連結業務純益	: 連結粗利益－経費（除く臨時処理分）＋持分法による投資損益等連結調整
ETF関係損益等	: ETF関係損益（2行合算）＋営業有価証券等損益（SC連結）
顧客部門	: RBC、CIC、GCC、AMCの速報値合計
市場部門	: GMCの速報値
経費（除く臨時処理分等）	: 経費（除く臨時処理分）－のれん等償却
親会社株主純利益	: 親会社株主に帰属する四半期純利益
グループ合算	: BK、TB、SC、及び主要子会社等の合算（管理会計）
2行合算	: BK単体＋TB単体（財務会計）

決算の概要

(億円)	22年度 3Q累計	前年同期比
連結粗利益 + ETF関係損益等 ^{*1}	17,494	+502
経費（除く臨時処理分等）	△10,796	△503
連結業務純益 + ETF関係損益等^{*1}	6,818	△26
うち顧客部門	5,353	+168 ^{*2}
うち市場部門	1,471	△417 ^{*2}
（連結業務純益）	6,762	△44
与信関係費用	△653	+825
株式等関係損益 - ETF関係損益等 ^{*1}	419	+755
経常利益	6,581	+1,604
特別損益	318 ^{*3}	△256
親会社株主純利益	5,432	+646

■ 連結業務純益 + ETF関係損益等：

外部環境悪化を受け市場部門が苦戦も、顧客部門は堅調に推移
年度計画 8,600億円に対して79%の進捗

■ 親会社株主純利益：

政策保有株式の売却益や退職給付信託返還益の上振れ等により、
年度計画 5,400億円の水準に到達
なお、不透明な事業環境を踏まえ、通期計画は据置き

主要グループ会社の四半期純利益

	22年度 3Q累計	前年同期比
みずほ銀行（連結） ^{*4}	4,703	+1,798
みずほ信託銀行（連結）	220	△103
みずほ証券（連結）	164	△361
アセットマネジメントOne	108	△15

*1: ETF関係損益等55億円（前年同期比+18億円） *2: 前年同期の計数を22年度管理会計ルールに組み替えて算出 *3: うち、退職給付信託返還益412億円（前年同期比△250億円）

*4: 米国みずほ証券の四半期純利益158億円（前年同期比△71億円）を含む

カンパニー別業績

(億円)

グループ合算、速報値

	業務粗利益 ^{*1}		経費 (除く臨時処理分等)		業務純益 ^{*1}		四半期純利益 ^{*1}	
	22年度 3Q累計	前年同期比 ^{*2}	22年度 3Q累計	前年同期比 ^{*2}	22年度 3Q累計	前年同期比 ^{*2}	22年度 3Q累計	前年同期比 ^{*2}
リテール・事業法人	5,031	△168	△4,540	+131	447	△133	69	△455
大企業・金融・公共法人	3,493	△25	△1,458	+46	2,091	+38	2,242	+1,317
グローバルコーポレート	4,868	+412	△2,313	△137	2,716	+312	1,599	△114
グローバルマーケット	3,355	△228	△1,879	△189	1,471	△417	987	△269
アセットマネジメント	414	△26	△263	△13	98	△49	32	△35
カンパニー合計	17,161	△35	△10,453	△162	6,824	△249	4,929	+444
FG連結	17,494	+502	△10,796	△503	6,818	△26	5,432	+646

*1: グローバルマーケットには2行合算のETF関係損益を含む。FG連結には2行合算のETF関係損益、SC連結の営業有価証券等損益を含む *2: 前年同期の計数を22年度管理会計ルールに組み替えて算出

B/Sの概要

連結貸借対照表

() 内は22/3末比

総資産 251兆円 (+14.7兆円)

貸出金

91兆円 (+6.4兆円)

有価証券

35兆円 (△8.9兆円)

日本国債 15.6兆円 (△10.0兆円)
外国債券 10.8兆円 (+0.9兆円)
日本株式 3.0兆円 (△0.2兆円)

その他

124兆円 (+17.2兆円)

預金・譲渡性預金

162兆円 (+6.7兆円)

その他

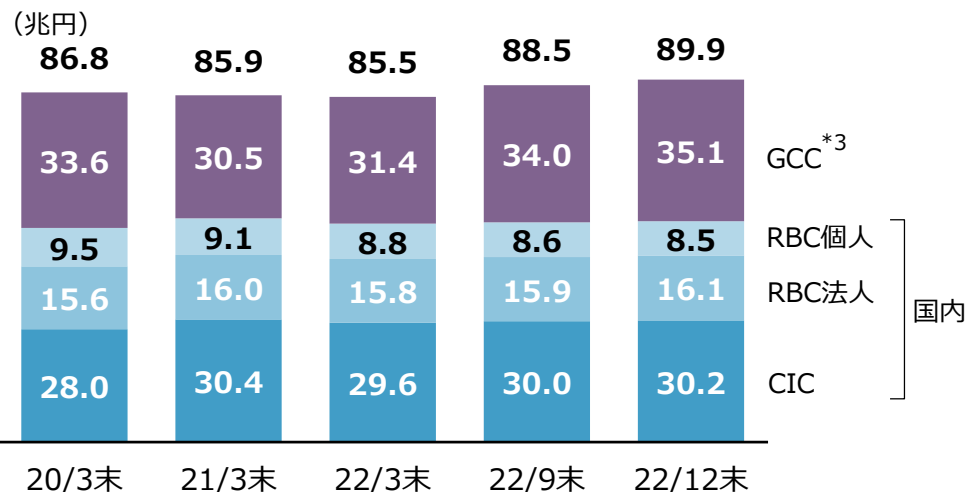
80兆円 (+8.1兆円)

純資産

9兆円 (△0.1兆円)

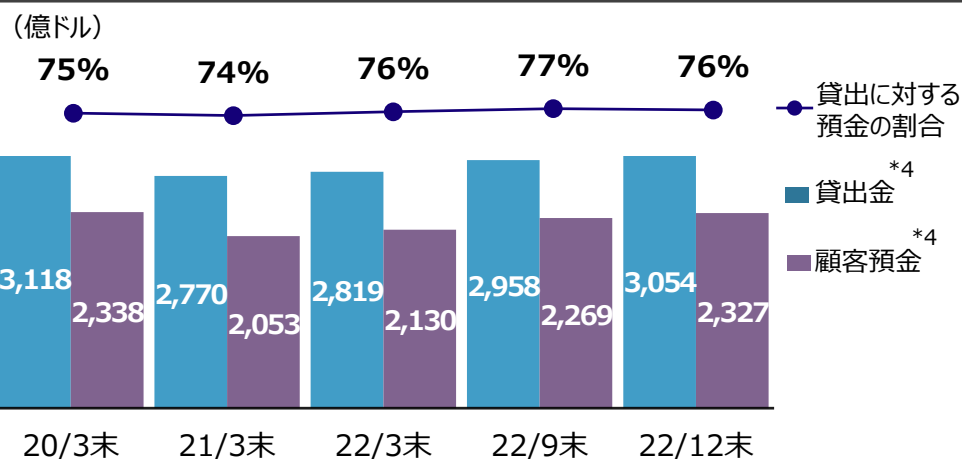
貸出金の内訳 (末残)^{*1 *2}

BK + TB、管理会計



外貨預貸構造 (末残)^{*2 *3}

BK、管理会計



*1: グループ内貸出金を除く、国内は政府等向け貸出金を除く *2: 22年度管理会計ルール (20/3末～22/3末は遡及修正)

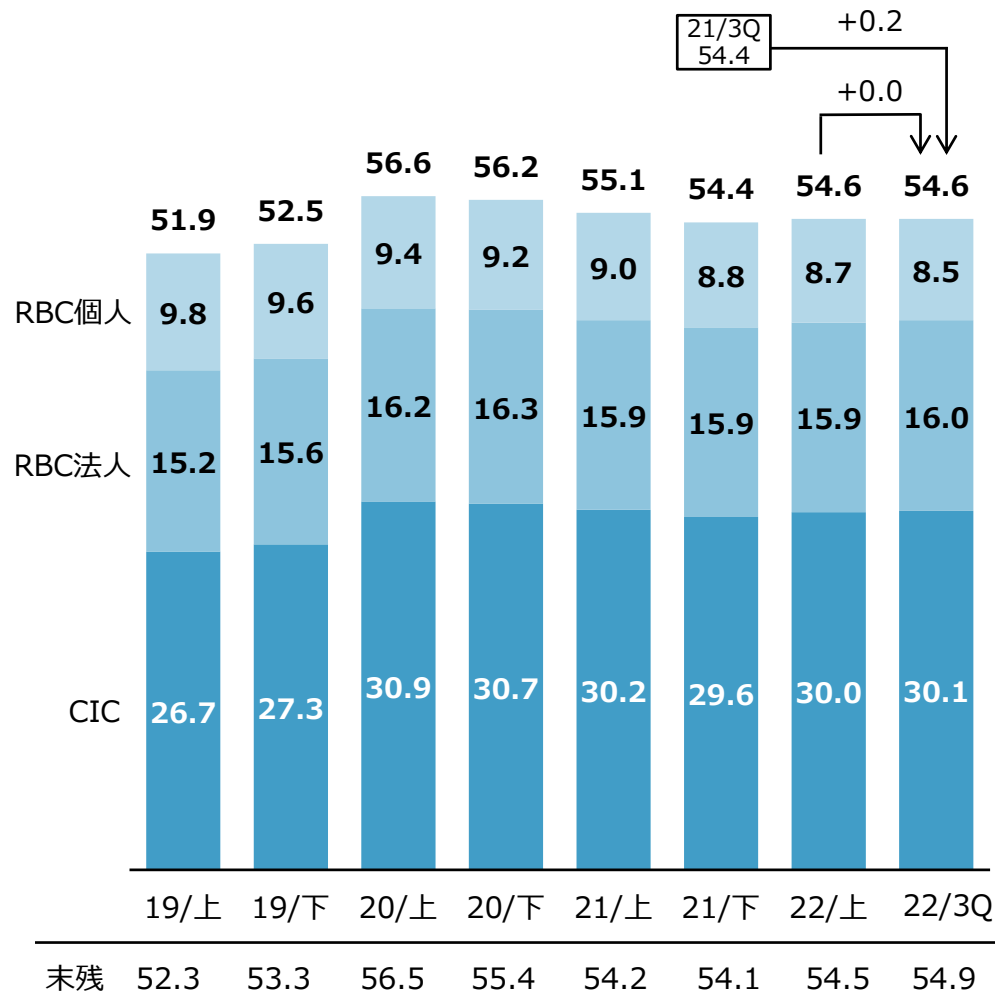
*3: BK (含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人) *4: 国内を含む

国内貸出金

国内貸出金（平残）^{*1}

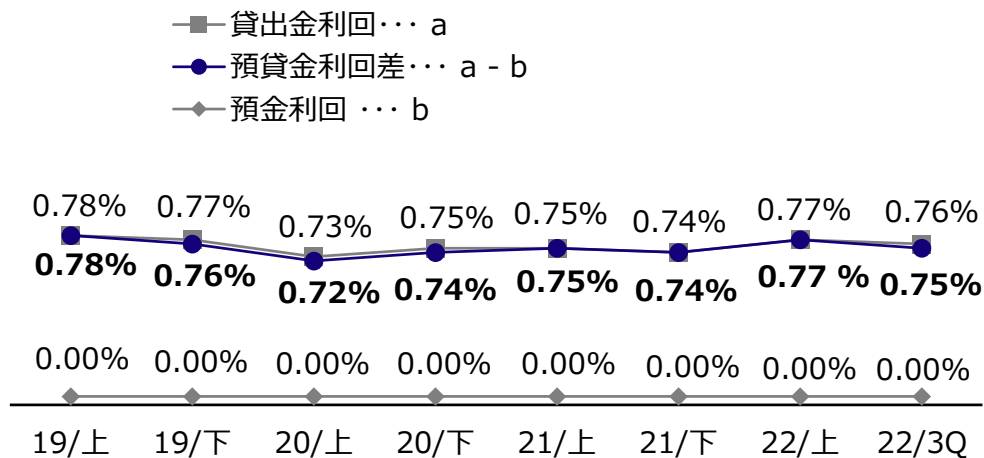
BK+TB、管理会計

(兆円)



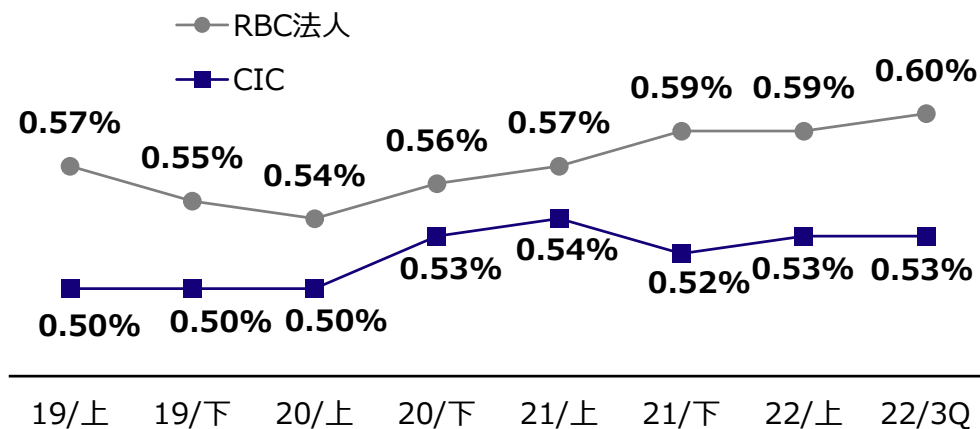
預貸金利回差^{*2}

2行合算



貸出金スプレッド^{*1}

BK+TB、管理会計



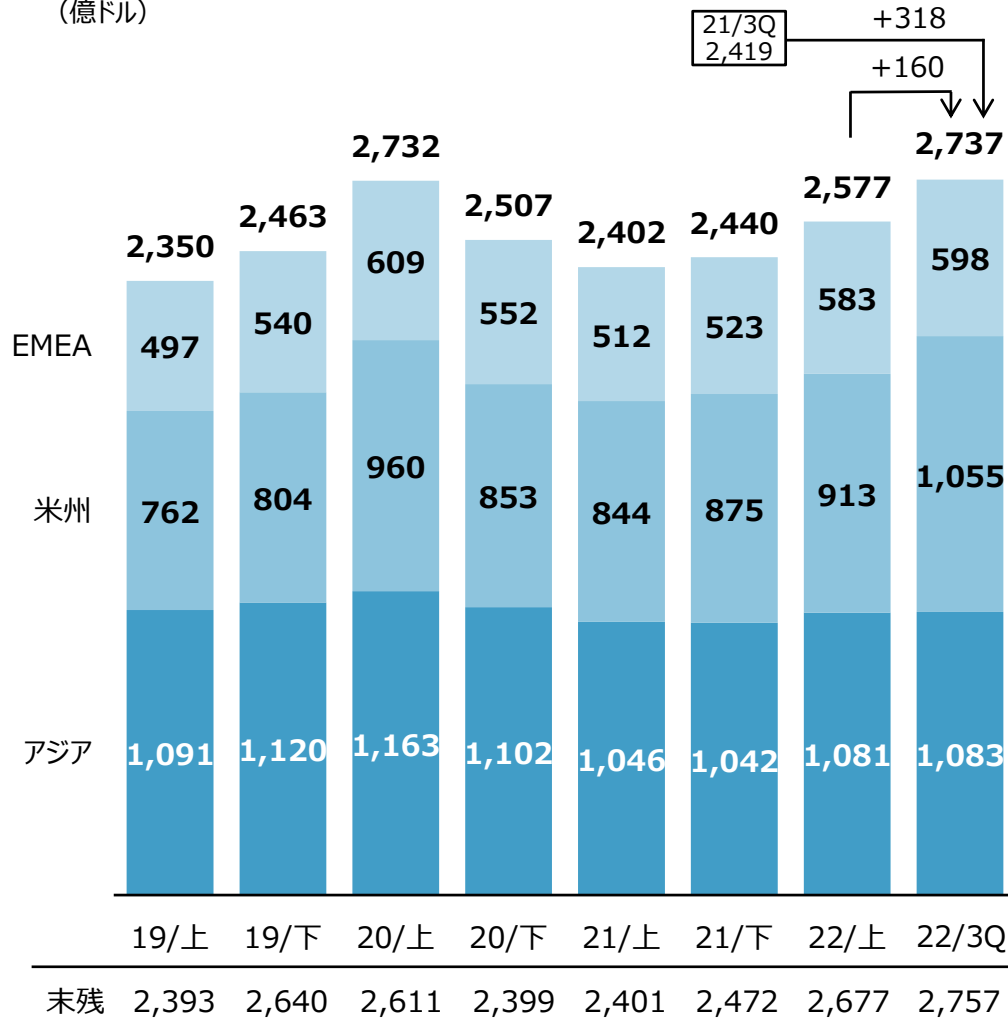
*1: 22年度管理会計ルール（19/上～21/下は遡及修正）、グループ内貸出金・政府等向け貸出金を除く *2: 金融機関（FGを含む）・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

海外貸出金

海外貸出金（平残）^{*1 *2}

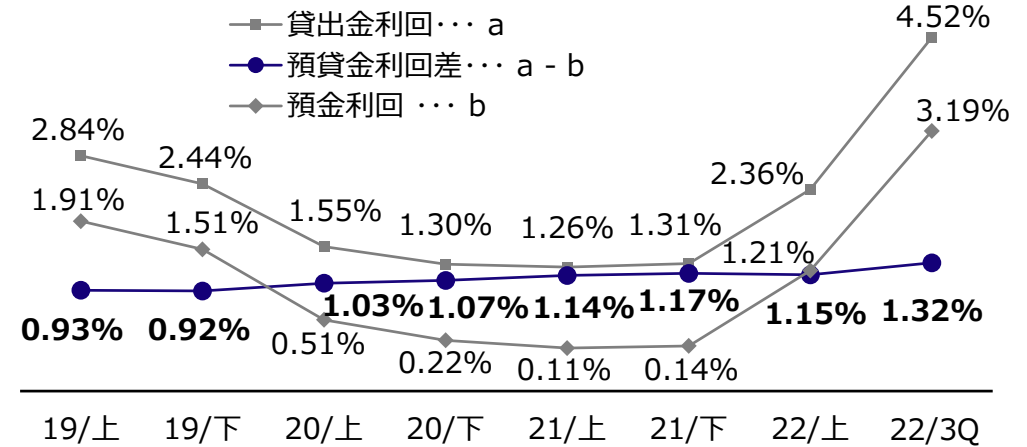
BK、管理会計

（億ドル）



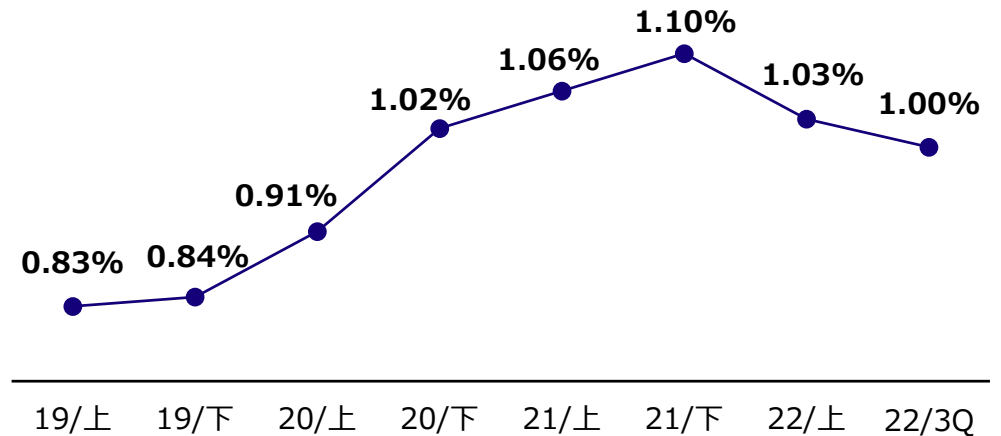
預貸金利回差

BK、国際業務部門



貸出金スプレッド^{*1 *2}

BK、管理会計



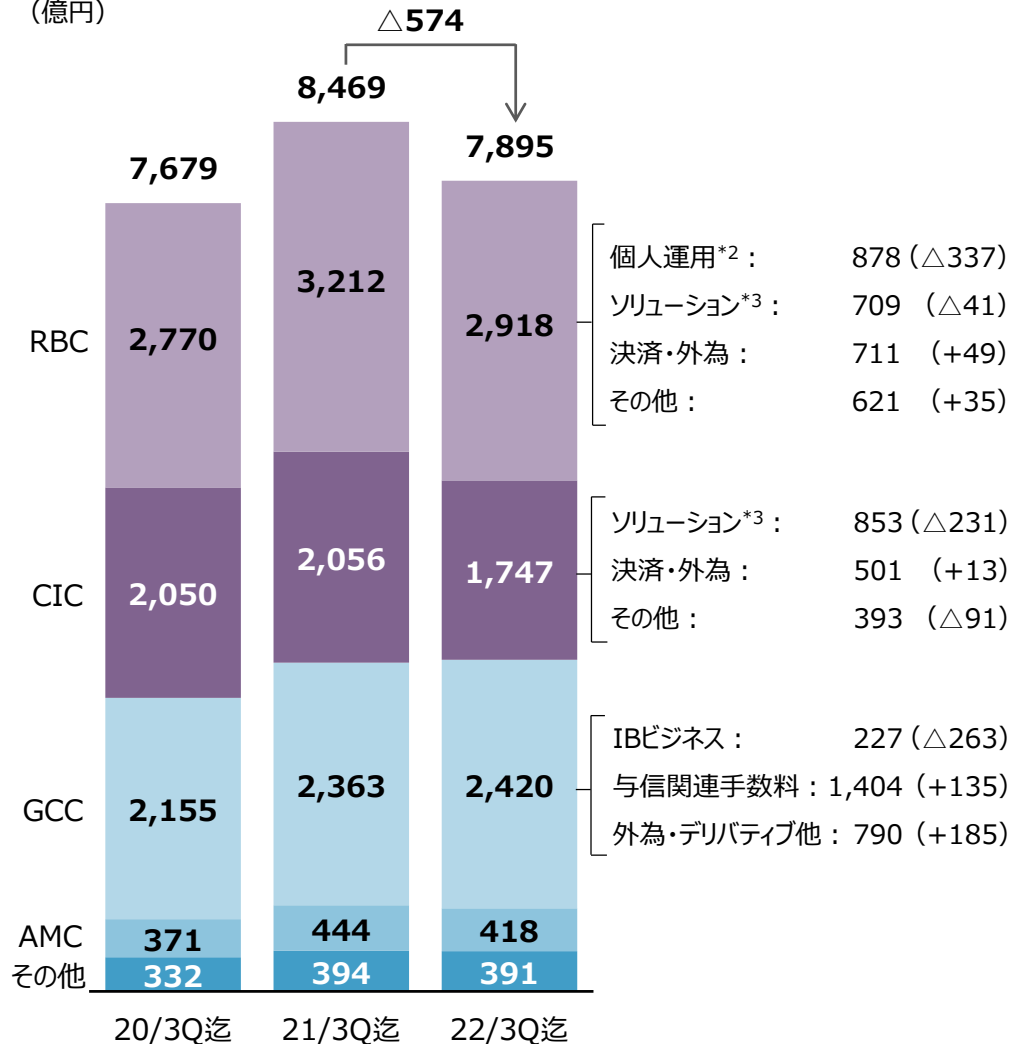
*1: 22年度管理会計ルール（19/上～21/下は遡及修正）、グループ内貸出金を除く *2: BK（含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人）

非金利収支

非金利収支（顧客部門）^{*1}

グループ合算、速報値
（）内は前年同期比

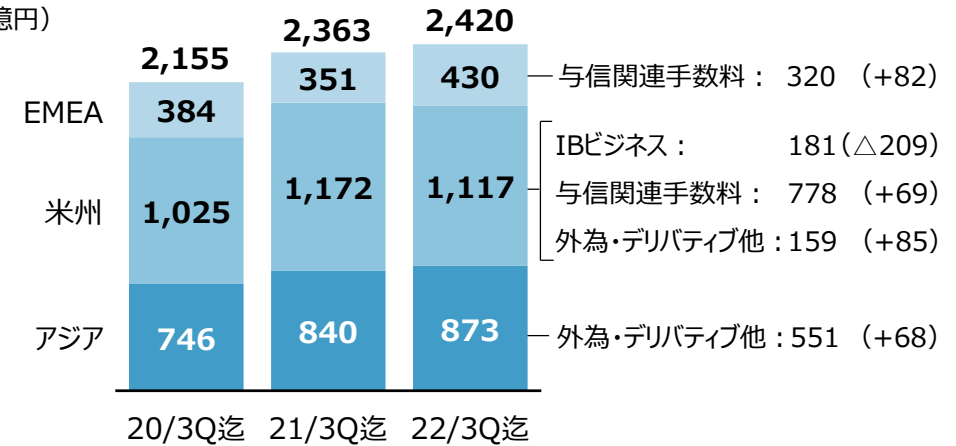
（億円）



参考

GCC地域別内訳

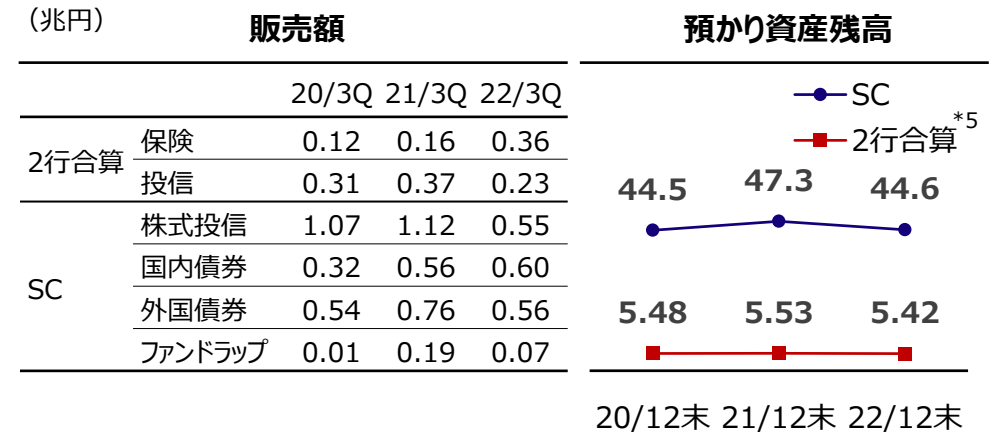
（億円）



参考

投資運用商品^{*4}

（兆円）



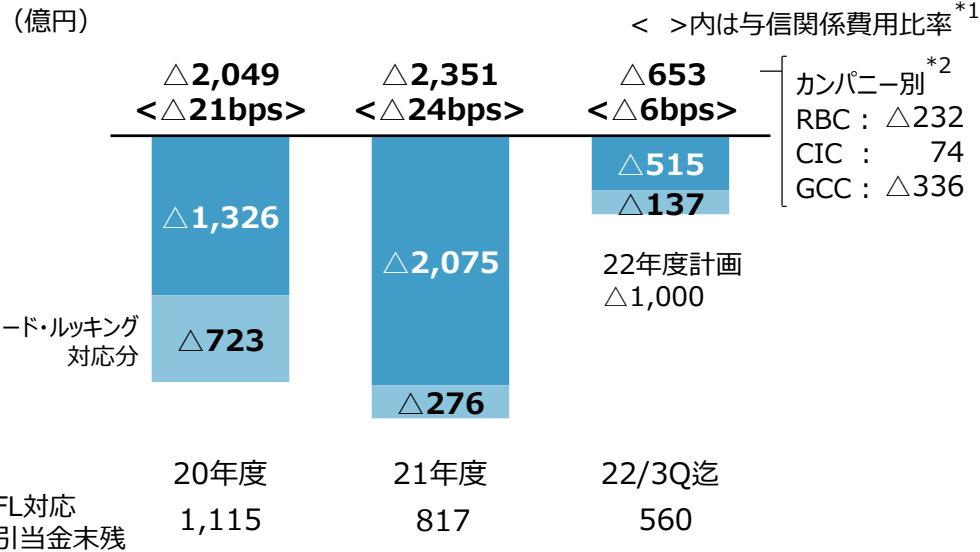
^{*1}：22年度計画レートの適用、管理対象範囲の拡大・精緻化により、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、20/3Q迄：7,357億円、21/3Q迄：8,094億円 ^{*2}：BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント

^{*3}：投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む ^{*4}：SCはリテール事業法人部門 ^{*5}：保険、投資信託（除くMMF）、外貨預金の合計値

アセットクオリティ

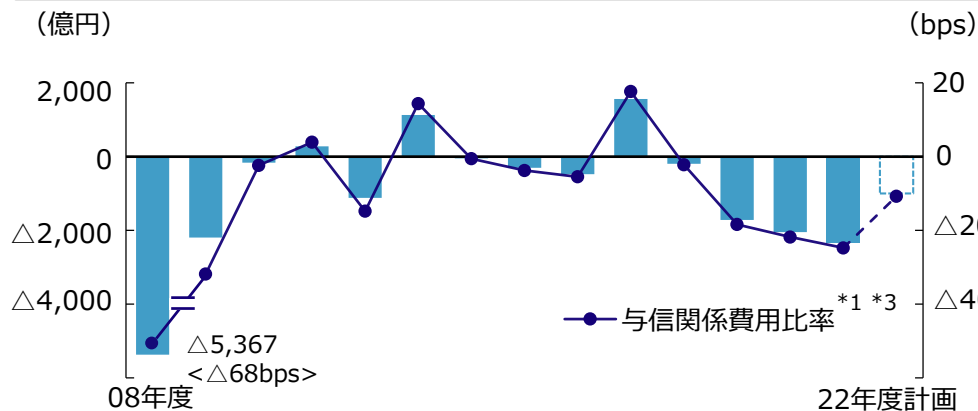
与信関係費用

連結



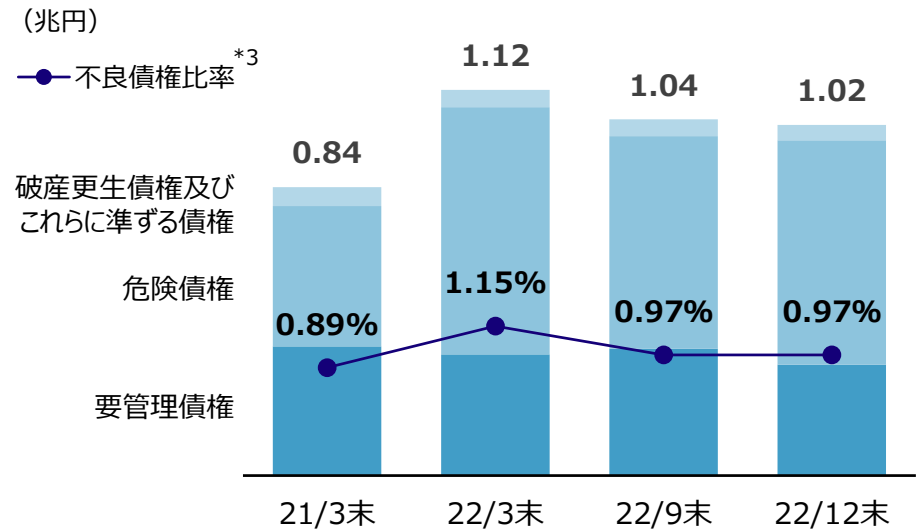
参考

過年度推移



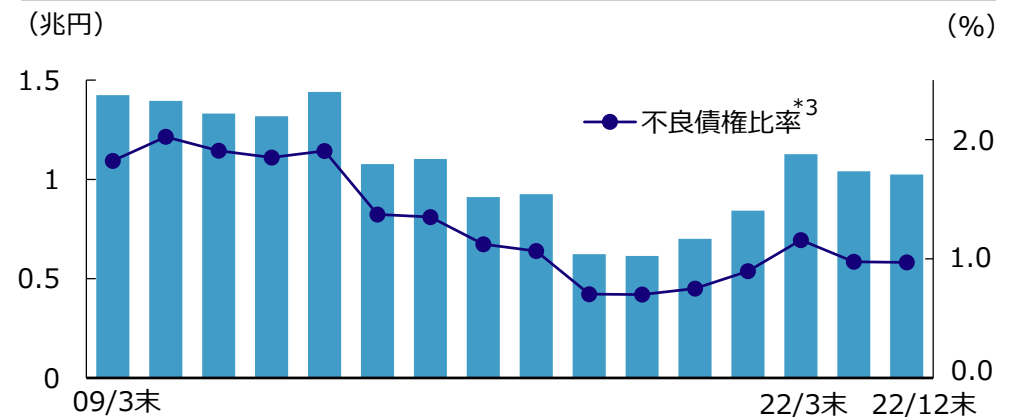
銀行法及び再生法に基づく債権^{*4 *5}

連結



参考

過年度推移



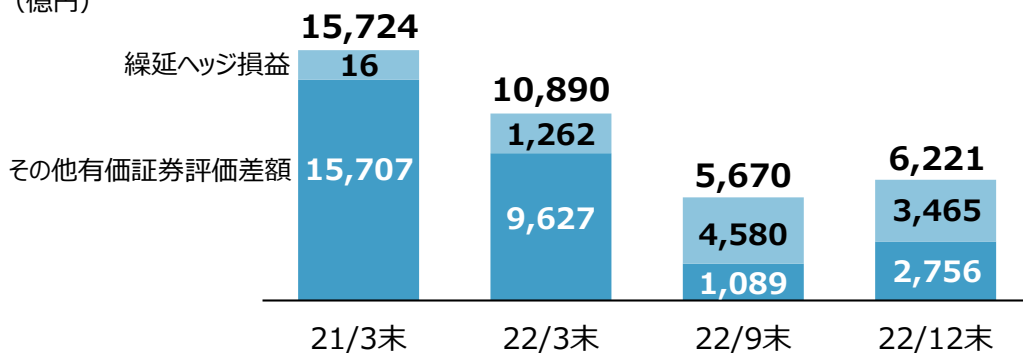
*1: 与信関係費用 / 期末総与信残高(信託勘定を含む) *2: 管理会計。為替影響は含まず *3: 13年度以前は銀行単体合算の期末総与信残高を使用して算出 *4: 信託勘定を含む

*5: 21/3末以前は金融再生法開示債権

有価証券ポートフォリオ

その他有価証券評価差額 ^{*1 *2}

(億円)



株式	16,657	14,724	13,696	14,013
債券	△449	△521	△546	△1,062
うち国債	△317	△305	△289	△584
線延ヘッジ勘案後	△317	△305	△332	△484
外国債券	△330	△4,142	△10,817	△9,164
線延ヘッジ勘案後	△270	△2,789	△6,062	△5,599
その他	△170	△432	△1,243	△1,030
ベアフンド ^{*3}	△1,554	△298	△97	△15
投資信託等	1,384	△134	△1,145	△1,014

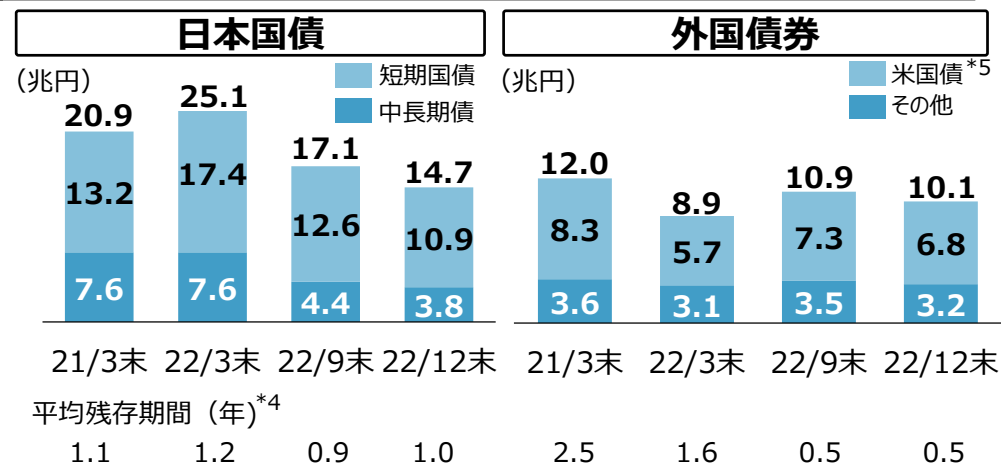
<参考>

株式・ベアフンド ^{*3} 合算	15,103	14,426	13,598	13,998
---------------------------	--------	--------	--------	--------

*1: 純資産直入処理対象分、組合出資分を除く *2: その他有価証券で時価のあるもの *3: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引分 *4: 内部管理ベース。ヘッジ考慮後、除く満期保有目的債券。ヘッジ考慮前は、日本国債 21/3末:1.1年、22/3末:1.2年、22/9末:1.3年、22/12末:1.4年、同外国債券は、21/3末:2.6年、22/3末:2.9年、22/9末:2.5年、22/12末:2.7年 *5: 米国債・GSE債 *6: 22年度累計の売却△315億円 *7: うち減損△458億円

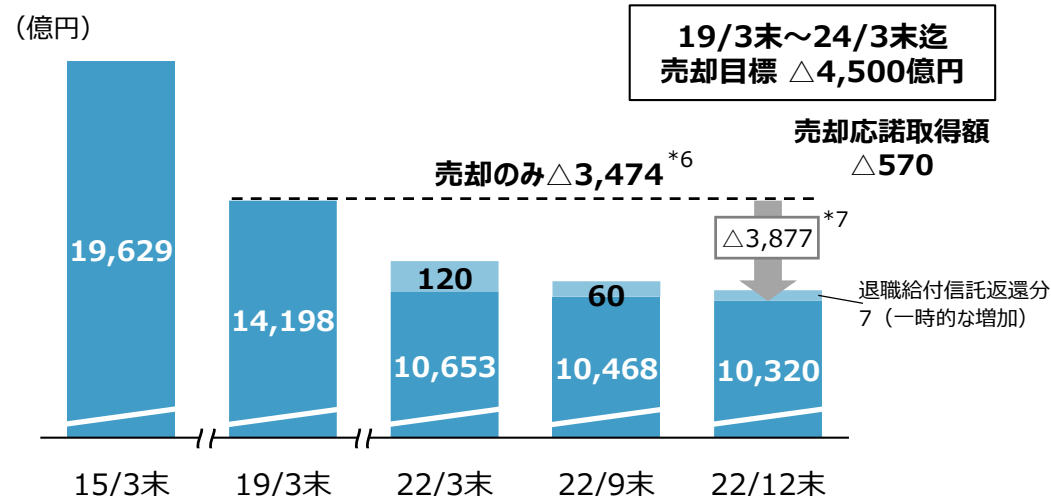
債券残高 ^{*2}

2行合算、取得原価



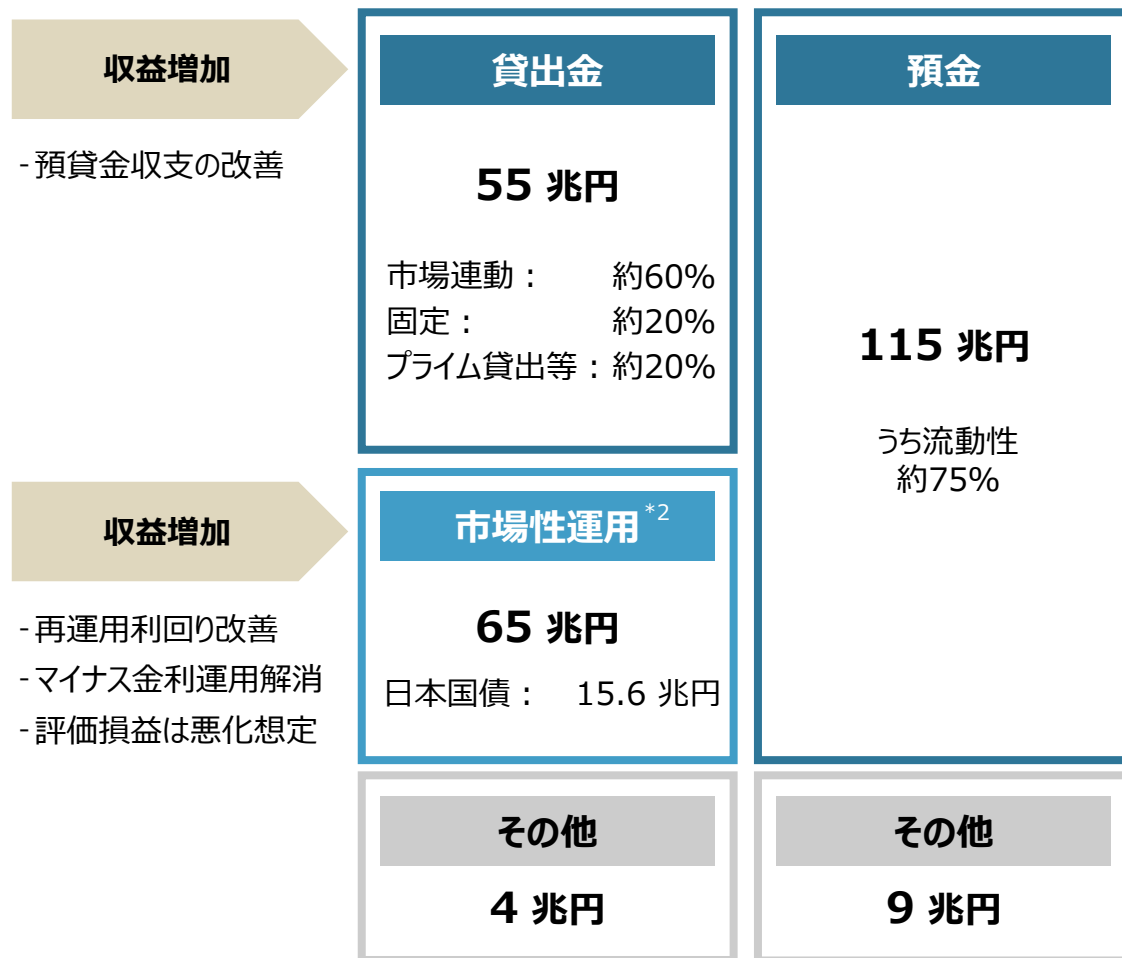
株式残高 ^{*2}

連結、取得原価



(ご参考) 円金利上昇による財務影響概算

円貨B/S (22/12末)^{*1}



■ 日銀の金融政策変更による影響を概算

想定P/L影響は、年間 +350億円程度

- 預貸金収支: +200億円
- 市場性運用: +150億円

< 試算前提 >

(22/12末比)

政策金利	0.00%	(+0.10%)
5年国債	0.30%	(+0.08%)
10年国債	0.50%	(+0.09%)
日銀当預の基礎残高利息	0.10%	(不変)

*1: BK、内部管理ベース *2: 日銀当預を含む